

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

*** 1928、29年、1939年の自記寒暖計記録紙発見 (レプソルド子午儀室床下探検)**

アーカイブ新聞第989号に「15mm幅クロノグラフ記録紙発見」、第990号に「レプソルド子午儀室床下で気圧計記録紙発見」という記事を書いた。これらは第988号に書いた「クロノグラフ収蔵」という記事のクロノグラフの記録テープを捜索するためにレプソルド子午儀室床下に入り込んで発見したものについて書いてきた。今回はそれらとは違った記録紙の自記寒暖計の記録紙である。1928年、1929年、1939年分があるが、これらには時計地下室と書かれている。東京天文台には地下の時計室があった。図1は1926年～1930年ころの東京天文台配置図で、Cが地下の時計室の場所である。

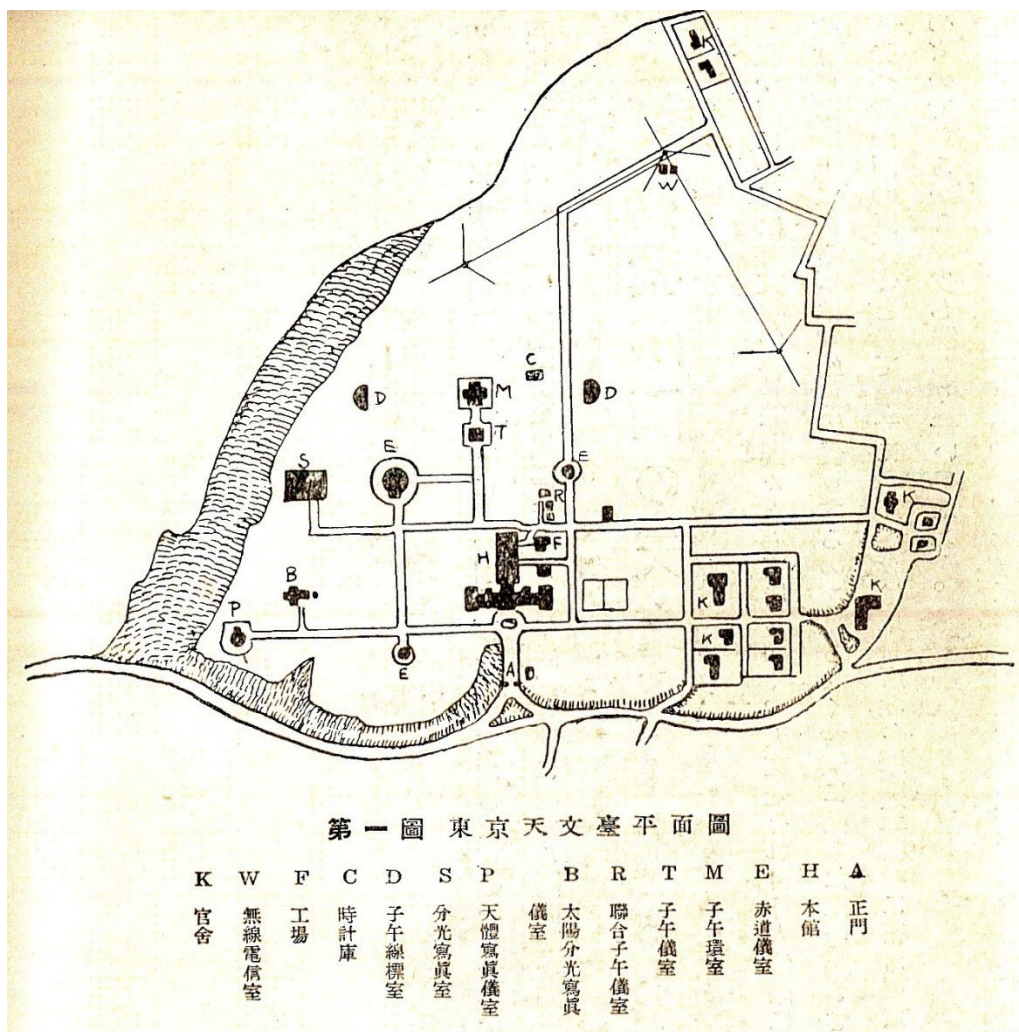


図1 1926年～1930年間の建物配置図

この場所は、現在ではゴーチェ子午環北側の広い竹林の中にあり、かすかに痕跡を残すばかりである（写真1）。



写真1 竹藪の中の時計室の痕跡

発見した温度の記録紙が入っていた封筒が写真2、写真3である。

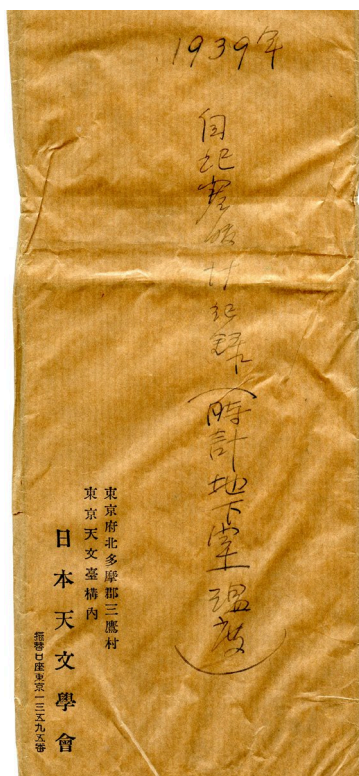
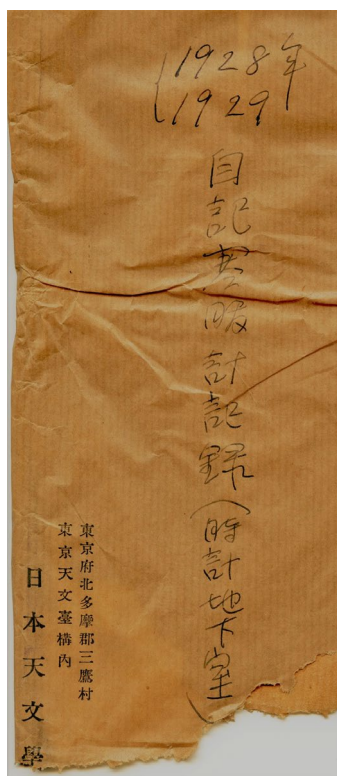


写真 2 1928、1929 年分

写真 3 1939 年分

これらの封筒には、1928 年、1929 年自記寒暖計記録（時計地下室）、1939 年自記寒暖計記録（時計地下室温度）と書かれている。

記録紙は、1928 年、1929 年、1939 年のそれぞれ一部しかない。この写真 2、3 の 2 つの封筒に束ねられていた。表 1 が 1928 年分、表 2 が 1929 年分、表 3 が 1939 年の記録紙があった年月日の表である。これらの表を見ると、1928 年分は 7 月 2 日から 12 月 27 日まで、1929 年分は 1 月 7 日から 7 月 30 日の週まで、1939 年分は 1 月 30 日から 2 月までは揃っているが、3 月、7 月 11 月のものがあるが揃ってはいない。

記録紙交換日				
年	月	日	曜日	メモ
1928	7	2		
		9		
		16		
		23		
	8	6		
		13		
		20		
		27		
	9	3		
		10		
		18		
		24		
	10	1		
		9		
		15		
		22		
		29		
	11	5		
		12		
		19		
		26		
	12	3		
	12	10		
		17		
1928	12	24	~27	

表 1 1928 年の記録紙の表

記録紙交換日				
年	月	日	曜日	メモ
1929	1	7		
		14		
		21		
		28		
	2	4		
		12		
		20	Wednesday	
		27	Wednesday	pm2h
	3	6	Wednesday	pm1h
		14	Thursday	am11h
		20	Wednesday	
		28	Thursday	
	4	4	Thursday	
		9		時計庫扇風機試験
		9		時計庫扇風機試験
		11		
1929	4	15		
		18		
		22		
		25	Thursday	
		30		
	5	18	Saturday	Meridian Under room
		25	Saturday	
	6	1	Saturday	
		8	Saturday	子午環地下室
		17		
		25		
	7	1		
		8		
		15		子午環地下室内温度
		18	Tuesday	
		24		
		30		

表 2 1929 年の記録紙の表

記録紙交換日							
年	月	日	曜日	時刻	交換月	交換日	時刻
1939	1	30		10h	2	6	9h55m
1939	2	5		9h50m	2	13	9h50m
1939	2	13		9h50m	2	20	9h40m
1939	2	20		9h40	2	27	9h55m
1939	3	13			3	20	
1939	7	3			7	10	
1939	7	10			7	17	
1939	7	17			7	24	
1939	7	24			7	31	
1939	11	20			11	27	
1939	11	27			12	4	

表 3 1939 年の記録紙の表

温度計の記録であり、それも地下の時計室の温度の記録であるから、主にはほとんど変化のない記録で面白くない。例えば写真4が1928年8月20日～9月2日の2週間の記録であるが、8月末から9月初めだが地下室であるため20度Cでほとんど変化していない。

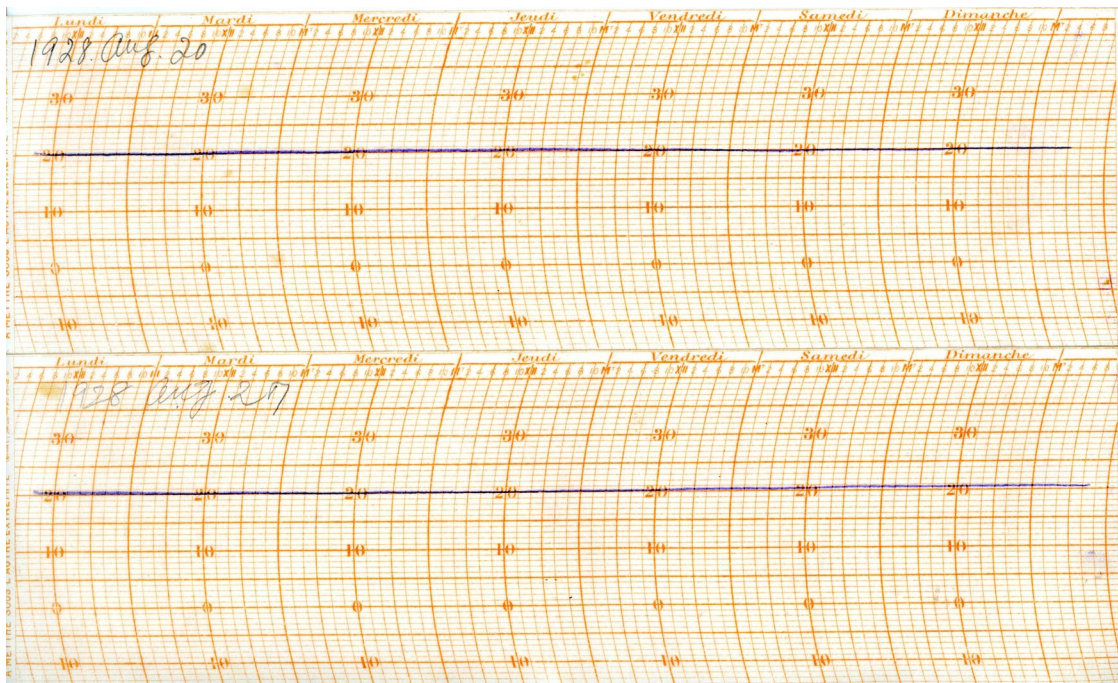


写真4 1928年8月6日～19日の温度記録

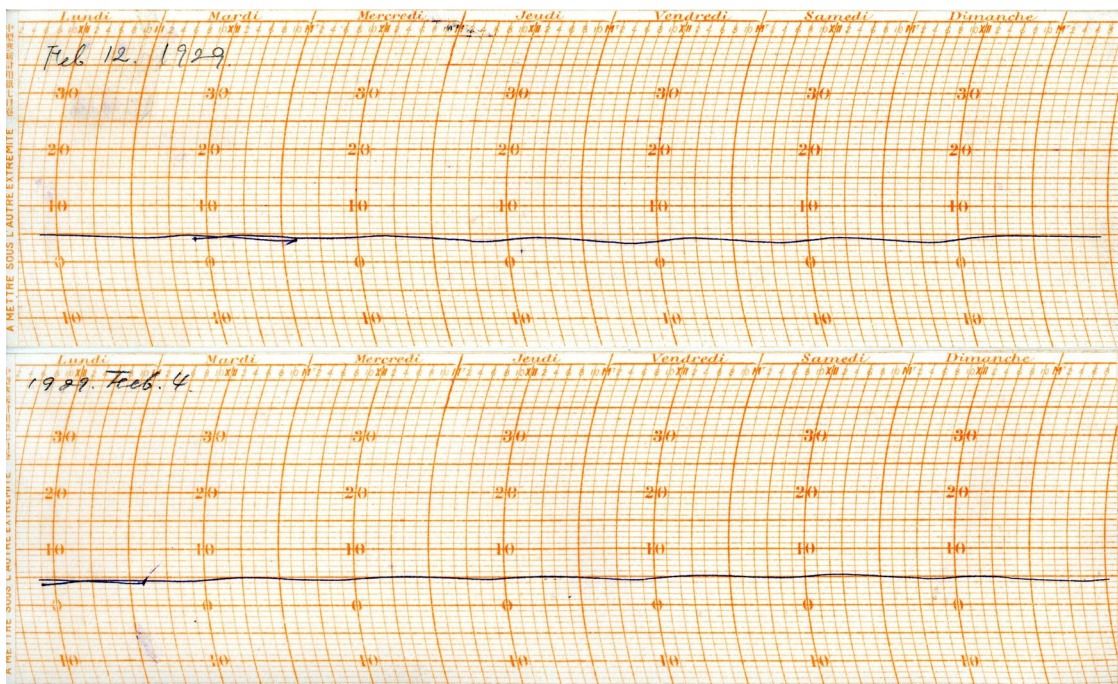


写真5 1929年2月4日～18日の温度記録

写真5は、1929年2月4日～10日（下段）、2月12日～18日（上段）の温度記録であるが、2月の真冬とはいえ温度が5℃程度で8月に比べて温度にふらつきがあるという記録になっている。真夏が20℃程度は理解できるが、真冬が5℃は地下室としては奇妙に感じる。

よく点検してみると、1929年4月15日～、22日～、30日～の3週間分は湿度の記録であった。

またこれらの記録紙は、日本の中央气象台規格のものが使われていた（写真6、7）。

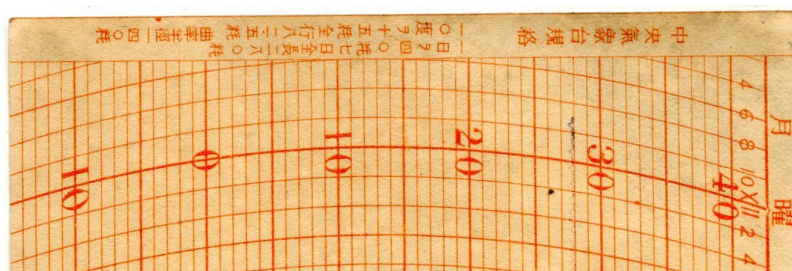


写真6

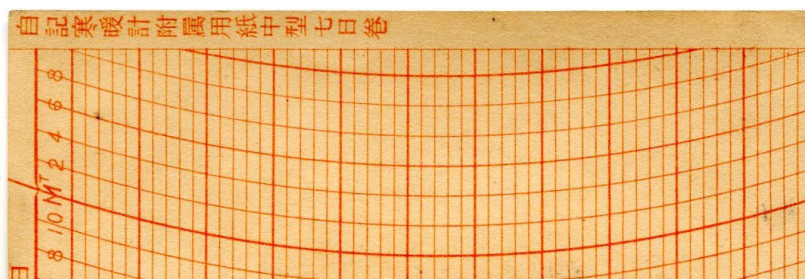


写真7

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp